Weekly Report on Aomori Prefecture Infectious Disease
青森県感染症発生情報
（2026 年第 47 週）
発行　青森県感染症情報センター（2026 年 11 月 27 日）
（青森県衛生研究所　微生物第一部）
TEL　017-736-5411、 FAX　017-736-5419
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/eisei/infection-survey.html

Ⅰ　第 47 週の発生動向（2026/11/16～2026/11/22）

1．**インフルエンザ**について、**東津軽＋青森市保健所管内**の定点当たり報告数が新たに**警報レベル**となり、**上北保健所管内**で**警報**が継続しています。また、**中南保健所管内、三戸＋八戸市保健所管内、西北保健所管内**及び**下北保健所管内**で**注意報**が継続しています。日頃から手洗いや咳エチケット等の基本的な感染対策をお願いします。また、ワクチン接種についてもご検討ください。

2．**水痘**について、**中南保健所管内**の定点当たり報告数が新たに**注意報レベル**となりました。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

＜感染症の窓＞

今週のテーマは「後天性免疫不全症候群」です。

最終ページに掲載しています。

Ⅱ　第 47 週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

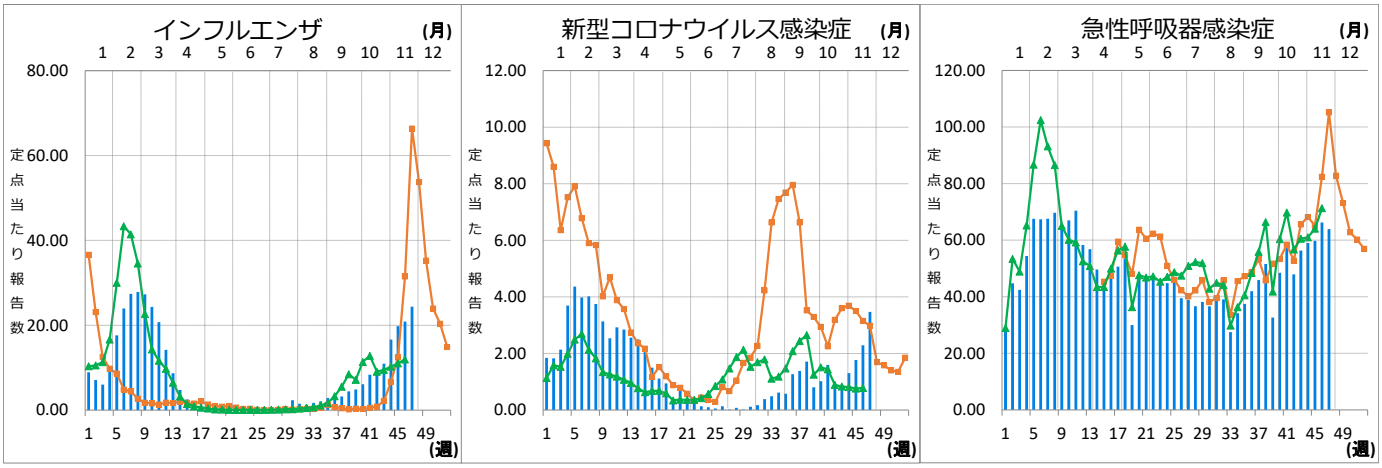
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、　は注意報。「空欄」：患者報告無し。

		東青（東津軽＋青森市保健所）		中南（中南保健所）		三八（三戸＋八戸市保健所）		西北（西北保健所）		上北（上北保健所）		下北（下北保健所）		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数
急性呼吸器感染症	インフルエンザ	416	37.82	127	12.70	255	25.50	91	15.17	260	32.50	94	15.67	1243	24.37	157
	新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症	47	4.27	53	5.30	26	2.60	4	0.67	12	1.50	35	5.83	177	3.47	58
	急性呼吸器感染症	1145	104.09	455	45.50	521	52.10	239	39.83	445	55.63	454	75.67	3259	63.90	-186
小児科	ＲＳウイルス感染症	2	0.33	9	1.50	6	0.86					1	0.25	18	0.55	5
	咽頭結膜熱	1	0.17	2	0.33	1	0.14	1	0.20					5	0.15	-3
	A群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	5	0.83	2	0.33	6	0.86	5	1.00	10	2.00			28	0.85	-3
	感染性胃腸炎	6	1.00	2	0.33	29	4.14	11	2.20					48	1.45	-2
	水痘	1	0.17	6	1.00	3	0.43			1	0.20	1	0.25	12	0.36	3
	手足口病															-1
	伝染性紅斑	1	0.17											1	0.03	1
	突発性発しん	3	0.50	1	0.17	3	0.43							7	0.21	-3
	ヘルパンギーナ	3	0.50			2	0.29							5	0.15	-3
	流行性耳下腺炎															-1
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															-1
基幹	感染性胃腸炎（ﾛﾀｳｲﾙｽ）															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎	1	1.00									3	3.00	4	0.67	3
	無菌性髄膜炎															0

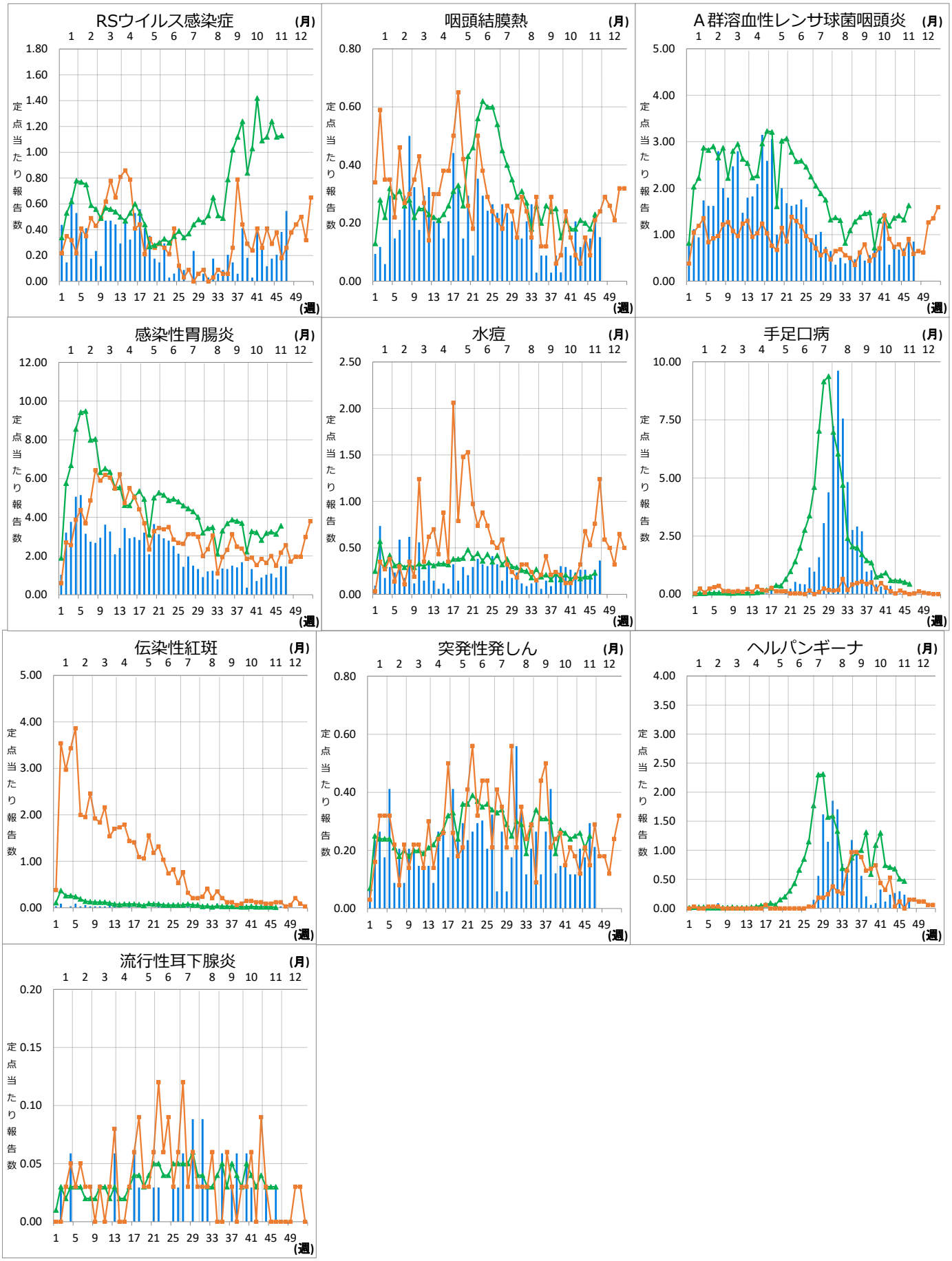
Ⅲ　定点把握対象疾患週別推移（急性呼吸器感染症定点）（2026 年第 47 週、ただし全国は前週）

グラフの説明☞——は 2026 年青森県、■——■は 2025 年青森県、▲——▲は 2026 年全国



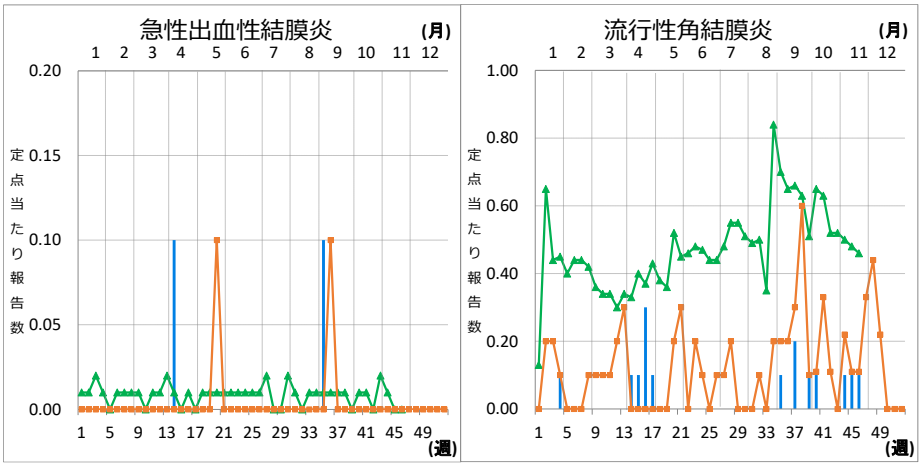
Ⅳ　定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2026 年第 47 週、ただし全国は前週）

グラフの説明☞――は 2026 年青森県、■――■は 2025 年青森県、▲――▲は 2026 年全国



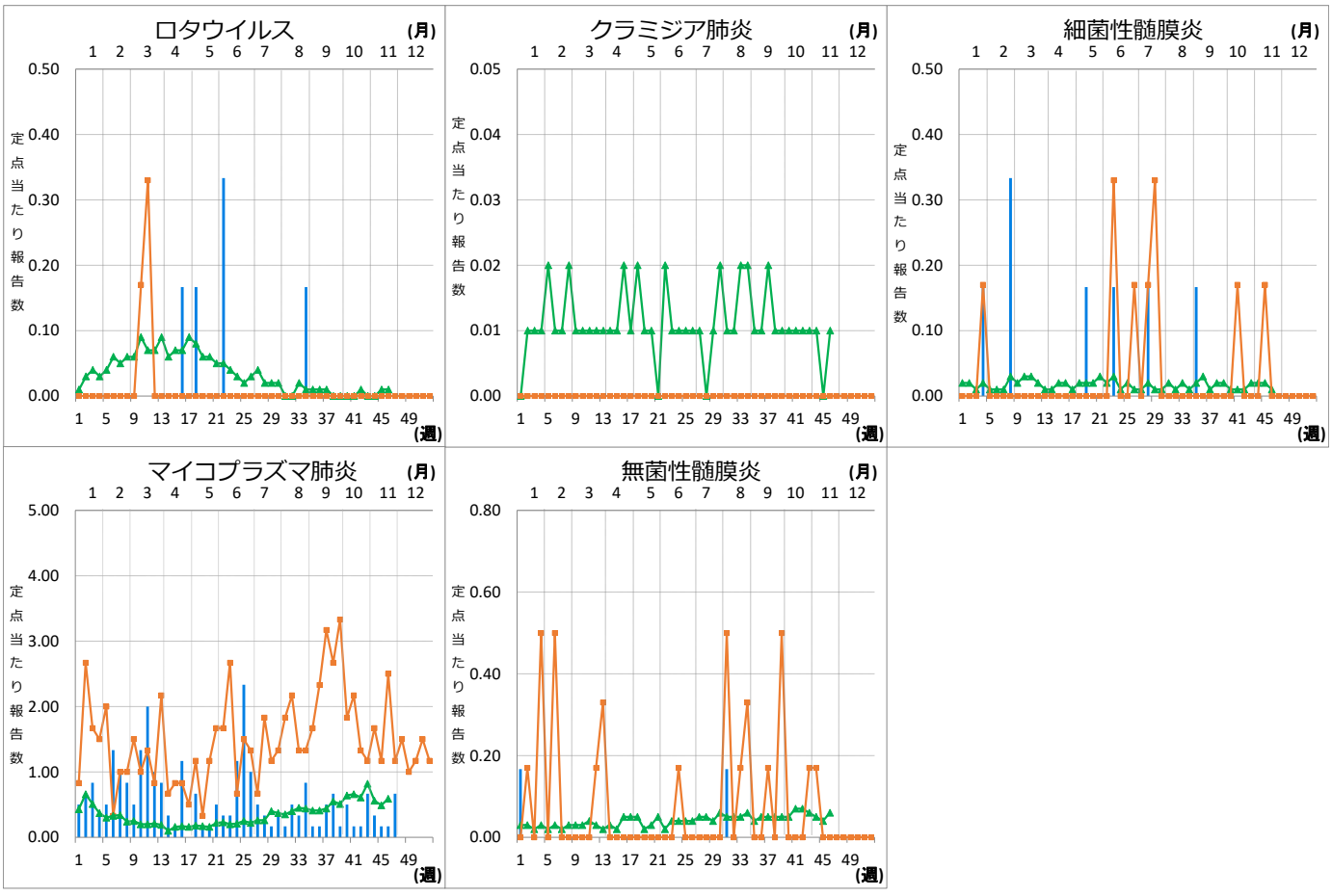
V　定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2026 年第 47 週、ただし全国は前週）

グラフの説明☞——は 2026 年青森県、■——■は 2025 年青森県、▲——▲は 2026 年全国



VI　定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2026 年第 47 週、ただし全国は前週）

グラフの説明☞——は 2026 年青森県、■——■は 2025 年青森県、▲——▲は 2026 年全国



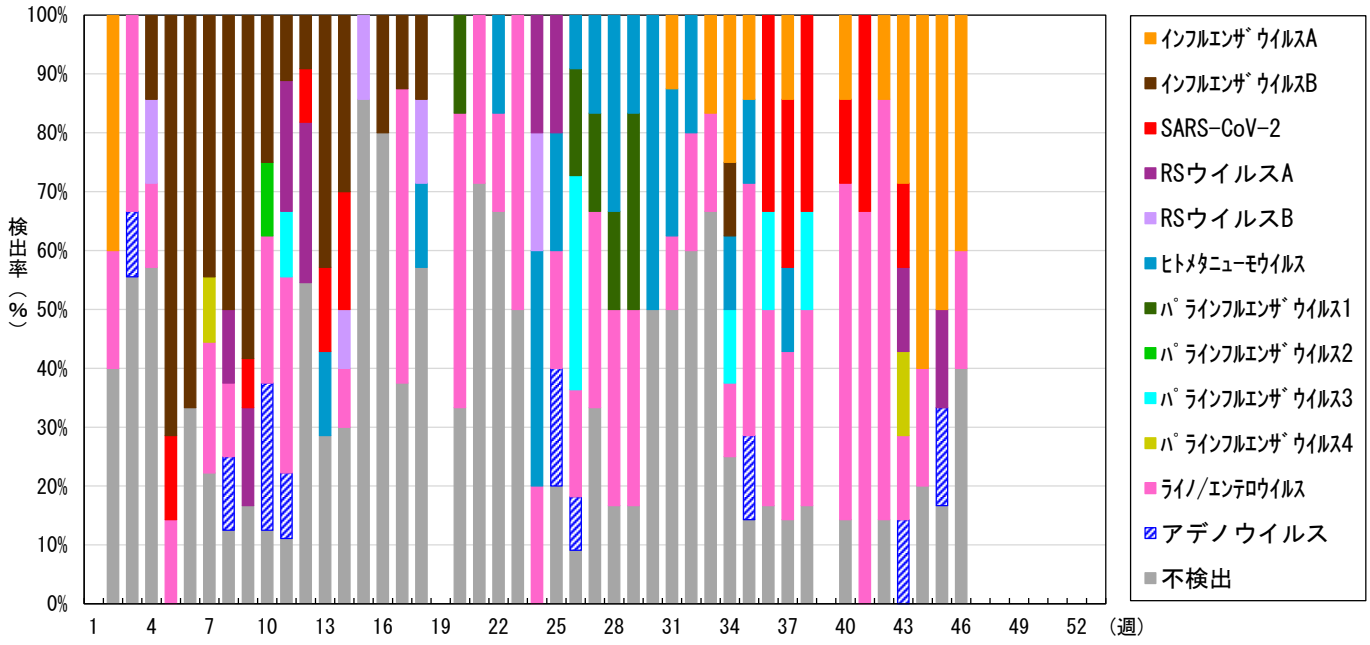
Ⅶ　急性呼吸器感染症(ARI)病原体検出情報

（１） 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分（2026 年第 40 週～47 週）

急性呼吸器感染症	2026年							
	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週
提出検体数	6	5	6	7	5	5	5	7
インフルエンザウイルスA	1	0	1	2	3	3	2	
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	
SARS-CoV-2	1	2	0	1	0	0	0	
RSウイルスA	0	0	0	1	0	1	0	
RSウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス3	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0	1	0	0	0	
ライノ/エンテロウイルス	4	4	5	1	1	0	1	
アデノウイルス	0	0	0	1	0	1	0	
不検出	1	0	1	0	1	1	2	
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	7

※第40週に採取された検体のうち、SARS-CoV-2及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが１検体ありました。
※第41週に採取された検体のうち、SARS-CoV-2及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが１検体ありました。
※第42週に採取された検体のうち、インフルエンザウイルスA及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが１検体ありました。
※第45週に採取された検体のうち、RSウイルスA及びアデノウイルスが重複して検出されたものが１検体ありました。

（２） 検出された病原体の週別推移（2026 年第 1 週～46 週）



Ⅷ　全数把握対象疾患発生状況（第 47 週）

・百日咳（五類感染症）：中南 2 人　　（2026 年計：　37 人）

Ⅸ　保健所管内別全数把握対象疾患発生状況　（2026 年第 44 週～2026 年第 47 週）

週	東青 （東津軽保健所+ 青森市保健所）	中南 （中南保健所）	三八 （三戸保健所+ 八戸市保健所）	西北 （西北保健所）	上北 （上北保健所）	下北 （下北保健所）
44	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1人 水痘（入院例）1人	結核1人 百日咳2人	ウイルス性肝炎1人		結核1人	
45	結核1人 クロイツフェルト・ヤコブ病1人	百日咳1人				
46	結核1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	百日咳2人	つつが虫病1人	侵襲性肺炎球菌感染症1人		
47		百日咳2人				

第 46 週に中南保健所管内で百日咳の届出が 1 件ありましたので追記しました。

X　全数把握対象疾患発生状況（全国−青森県）（注：発生状況は**速報値**であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国　（2026 年第 1 週～第 46 週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	エムポックス
累積報告数	13366	1	63	3871	33	18	551	380	20	158

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱
累積報告数	5	4	6	2	170	1	4	98	143	637

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	日本脳炎	ブルセラ症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症
累積報告数	10	1	43	4	1	2559	31	452	190	873

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症
累積報告数	27	514	10	153	1103	839	44	482	53	2289

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	水痘（入院例）	多剤耐性緑膿菌感染症	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	726	227	9992	141	104	67	5041	5	582	12

青森県　（2026 年第 1 週～第 47 週までの累計）

分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	90	2	43	3	4	12	2	1	8	5

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	百日咳
累積報告数	13	2	9	1	23	8	21	2	1	37

XI　病原体検出情報　※（ ）内は、検査材料及び検体採取日

無菌性髄膜炎患者（鼻汁、8/31）・・・ヒトメタニューモウイルス：下北１人

Ⅻ　社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成１８年２月２２日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2026 年第 47 週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第47週	報告なし		

2026 年報告件数及び発症者数

施設種別＼月（週）		1月 1-5週	2月 6-9週	3月 10-13週	4月 14-17週	5月 18-22週	6月 23-26週	7月 27-31週	8月 32-35週	9月 36-39週	10月 40-44週	11月 45週	11月 46週	11月 47週	11月 48週	12月 49-52週	計（施設別）
介護・老人福祉関係施設	件数	2	2	6	2	3	0	0	0	0	0	0	1	0			16
	発症者数	37	44	69	23	42	0	0	0	0	0	0	14	0			229
児童・婦人関係施設等	件数	4	0	1	3	4	1	0	0	0	0	0	0	0			13
	発症者数	92	0	30	73	63	10	0	0	0	0	0	0	0			268
障がい関係施設	件数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			2
	発症者数	20	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			38
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
計（月別）	件数	7	2	8	5	7	1	0	0	0	0	1					31
	発症者数	149	44	117	96	105	10	0	0	0	0	14					535

感染症の窓

後天性免疫不全症候群

12 月 1 日は世界エイズデーです

後天性免疫不全症候群（AIDS、エイズ）は、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）の感染によって免疫不全が生じ、日和見（ひよりみ）感染症（本来なら自分の免疫力で抑えられるような肺炎などの病気）や悪性腫瘍を合併した状態をいいます。

HIV は感染力が弱く、握手や入浴などの日常生活ではうつりません。主な感染経路は、「性的接触による感染」、「血液を介しての感染」、「母子感染」の 3 つに限られているため、正しい知識を持って予防対策をとることで、HIV 感染のリスクを減らすことができます。

現在、HIVを体内から完全に排除できる治療法はありませんが、抗HIV薬によってウイルスの増殖を抑え免疫力の低下を防ぐことで、HIVに感染していない人と同じように健康的な社会生活を送ることができます。また、血中からHIVが検出されない状態を維持することで、性的接触による感染を防ぐこともできます。エイズ発症後では発症前と比べて治療が難しくなるため、HIV感染を早期に発見し、早期治療につなげることが大変重要です。

県内の各保健所では、匿名・無料のHIV検査（即日検査）を実施しています。また、希望する場合には、性感染症の性器クラミジア感染症・梅毒についても、同時に匿名・無料で検査できます。検査は電話・インターネットで予約できますので、心配な方は、まずは最寄りの保健所（エイズ相談専用電話）に相談しましょう。



出典：（公財）エイズ予防財団ポスター

〇詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞青森県 STOP AIDS（青森県庁 HP）